

令和6年度 体力向上における各校の取組みと成果(小学校)

越前市

教育委員会

No	学校名		項目	具体的な取組み	成果
1	武生東	小学校	本校の体力向上の取組みについて	業間運動の内容を、持久力の向上を目指したもから運動を楽しみながらできるものへの転換を図った。	学校評価の業間運動の取組みに対するアンケートで、がんばっているが前年比で約10%高くなった。
2	武生西	小学校	本校の体力向上の取組みについて	春季と秋季に時間走記録会を開催することで、記録を伸ばすことを目標に体育、業間に行うのびのび運動等で持久力を高める運動に取り組んだ。	記録会を意識して体育や業間に行うのびのび運動等に取り組む姿が見られた。特に、秋季時間走記録会に向けての練習では、春季よりも記録を伸ばせるように練習に取り組んでいた。
3	武生南	小学校	その他	マラソン大会を楽しいと思ってもらえるように「Run Runフェスティバル」と名前を変えた。児童は、3つの距離の違うコースから自分で1つ選択するようにした。練習をする中で、各自が目標タイム(ラップタイム)を設定し、本番に臨んだ。	児童は自分で距離を選択したことで、意欲的に練習に励んでいた。ペアでラップタイムを取り合ったり、応援し合ったりする姿がよく見られた。児童からは、「自分にあったコースを選べるのが楽しい」「目標を設定して、目標通り走れてうれしかった」などの前向きな声が多く聞かれた。
4	神山	小学校	本校の体力向上の取組みについて	毎週水曜日に全校体育として「らんらんタイム」という時間を設け、自分のペースで約7分間の持久走を行ったり縦割り班でラジオ体操を行ったりした。	20mシャトルランの本校の平均結果は県平均よりも高く、特に5年男子では約20回も多くなっている。
5	吉野	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	体づくり運動などで楽しんでグループやペアで話し合ったり協働したりして運動が苦手な児童でも体を動かすことが楽しめるようにする。	運動に苦手意識を持っている児童でも体づくり運動では楽しんで取り組む姿が見られた。児童へのアンケートでも「体育の時間や休み時間に元気に運動している」のいつも元気に動かしている、または元気に動かしていると回答したものが80%を超えた。
6	大虫	小学校	本校の体力向上の取組みについて	準備運動前の周回走・時間走や体幹トレーニングを毎授業取り入れ、走力の向上をねらう。	体力テストの結果、握力・長座体前屈・20mシャトルランにおいて、全ての学年で全国平均を上回った。

7	国高	小学校	その他	遊具を増やしたり、鉄棒の設置環境を工夫したりし、児童が自ら体を動かそうとする環境を整える。	昼休みや大休みに、外で積極的に体を動かす児童が増えた。体育館での鉄棒の設置も例年より長くしたことで、様々な技にチャレンジして達成感を得る児童が増えた。
8	坂口	小学校	本校の体力向上の取り組みについて	業間運動で、ランニングや縄跳びなどを年間を通して継続的に行った。	運動能力調査、20mシャトルランでは、県平均を4/6の学年で上回った。
9	王子保	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	体育的行事を充実させ、それに伴って業間体育を実施する。	縦割り班での業間体育を実施したことで、異学年で運動を楽しむ姿が見られた。以後、大休みに異学年の児童がサッカーや鬼ごっこ、遊具遊びをして、積極的に運動することが増えた。
10	北日野	小学校	本校の体力向上の取り組みについて	業間運動を利用し、200mトラックを周回したり、ダンスやなわとび、大縄をしたりした。2学期には持久走記録会を行い、3学期の後半には、縦割り班対抗で8の字跳びを行った。	週に2回いろいろな業間運動を行ったことで、いろいろな基礎体力を高めることができた。持久走では全身持久力、筋持久力の向上、ダンスでは、バランス能力や柔軟性の向上が見られた。また、なわとびや大縄では、継続して取り組んだことによって全身持久力の向上、いろいろな技に挑戦することによって、敏捷性、巧緻性等の調整力の向上が見られた。
11	北新庄	小学校	本校の体力向上の取り組みについて	年間を通して週1回、業間に、ラジオ体操・マラソン・縄跳びを行った。ラジオ体操や縄跳びに関しては、はぴスポのはぴはぴコースやランキングコースに記録の入力を促した。	週に1回だが全校で運動に取り組む機会を設けたことで、「運動が好き」「運動がまあまあ好き」と回答する児童が89%いた。
12	味真野	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	体育委員会で外遊びや球技に親しめる企画を学期に2,3回実施し、学校全体として運動に親しむ習慣を作る。	休み時間にクラス単位で自主的に練習をする児童の姿が増えた。

13	白山	小学校	その他	体育的行事の見直しとして、11月にマラソン大会の実施方法を変更して行った。低・中・高学年ごとに距離が決まっていた方法から3コースから1コースを児童が選択して走る方法に実施形態を変更した。	多くの児童がマラソンにおいて、タイムアップを意識するようになり、意欲的に練習に取り組んだ。
14	南中山	小学校	本校の体力向上の取組みについて	毎週水・金曜日にチャレンジタイム(業間運動)として、持久走と縄跳びを行った。	体力テストにおいて、48種目中(8種目×男女×3学年)38種目で福井県の平均値を上回った。昨年度課題だった俊敏性において、反復横跳びや50m走で記録が向上した。
15	花筐	小学校	本校の体力向上の取組みについて	持久力を高める取り組みとして、9月、10月の体育の授業で5分間走に取り組んだ。また、1月、2月にはなわとび強化月間として、持久跳びや技跳びの記録を「はぴりゅうスポーツ広場」を活用してタブレットに記録した。	持久力を高める取り組みに力を入れたことで、放課後に持久走の練習に熱心に取り組む児童が見られ、多くの児童のマラソン大会のタイムが向上した。また、休み時間に積極的になわとびに取り組んだことで、持久跳びで長い時間跳べる児童が増えていった。
16	服間	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	体育カードを活用し、業間活動の記録や体育の授業の記録、マラソン大会の振り返りなどを残していくことで、自身の体力の向上を見える化した。また、様々な目標を達成するたびに賞状を作成した。	児童が年間を通して記録をし続けたことで、自身の運動技能の向上を感じやすくなり、マラソン大会やなわとび記録会などにも、意欲的に取り組み、目標を達成しようと頑張る姿がみられた。
17	岡本	小学校	本校の体力向上の取組みについて	異学年シャトルラン	異学年合同シャトルラン測定を実施した。単学年実施時よりも、記録を大幅に増やす児童が多く見られた。上・下級生共に、互いを意識し合ったことや、声援の量が倍増したことが記録の伸びにつながったと考える。